福島教区報

教会数　123ヶ所
布教所数　113ヶ所
よふぼく数　3461人
（R178年12月末現在）

天理教福島教務支庁
〒960-8022 福島市新浜町7番26号
TEL 024-534-2251 / FAX 024-534-2404

次なる塚へ向かって！ 新教区体制がスタート!!

教区長就任あいさつ

3月26日に真柱様より5期目の教区長の任を拝命致しました。

教祖130年祭が厳かに執行され、次なる塚に向かって歩みだした時旬、現代社会がかかえる厳しい状況を思うと、縦の系統活動と共に、横の教区活動の今日的意義はますます大事な動きとなるでしょう。

去る1月26日の教祖130年祭当日の真柱様のお言葉こそが、今後の我々の歩むべき道しるべであると存じます。

教区としても、その思いに沿いきって、地域活動を推し進め、横でのたすけ合いの輪を、人材育成の場を、そして陽気ぐらしの輪を広げて行けたらと存じます。

与えられた3年の任期中、をやの思いに沿いきり、をやの理を戴く努力を重ね、管内皆様方の更なるお力添えをいただいて、大役をつとめさせていただきたいと存じます。前期同様、何卒ご教導の程を宜しくお願い申し上げます。

また、引き続き、教区、各支部、各部各会の旬の活動の上にと、尚一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げ、就任のごあいさつとさせていただきます。

平澤勇一

次なる塚に向かって　たすけ合いの輪を広げよう！

をやの理を戴く努力を重ね、地域活動の活性化を

毎月2日　教区の月次祭を執行（1月は3日）
4月2日は「教区祭」の執行

をやの思いに素直に沿いきり、地域活動の活性化を！

ご本部からの旬の声、各部各会からの旬の声に素直に沿いきり、管内一丸となって、活動を推進し、地域活動の活性化を

人材育成を目指し、地域活動の活性化を！

各部各会が連携し、信仰の入り口と、信仰を学び高める場を提供し、人材育成に励み、地域活動の活性化を

ようぼくのネットワーク作りを進め、地域活動の活性化を！

横の活動の核となるネットワーク作りを推進し、たすけ合い励まし合いの輪を広げ、地域活動の活性化を

立教179年度　教区役職者・支部長紹介

総務部長・会計部長	酒井淳宏主事
育成部長・輸送部長・一れつ会担当	荒井忠弘主事
祭事部長・会計部次長	二瓶善一郎主事
教務部長・管理営繕部長	渡辺正彦主事
布教部長	橋本忠知主事
厚生部長・啓発委員会委員長	齊藤容久主事
書記	小野　修

福島支部長	椿　秀教	安達支部長	本田道弥
郡山支部長	加藤和宏	田村支部長	平澤八重
耶麻支部長	齊藤容久	会津支部長	間宮信雄
いわき支部長	木島勇道	相双支部長	目黒　淳

立教179年度　各部・各会　活動方針及び活動計画

布教部

部長　橋本忠知

本年度も私達の地である福島の横の布教活動の上に、管内教会のお力添えを宜しく御願い致します。

- ❒全教一斉ひのきしんデーの充実
- ❒全教一斉においがけデーの充実
- ❒ようぼく成人講座（かがやきプログラム）の全支部開催
- ❒陽気ぐらし講座の開催

災害救援ひのきしん隊

隊長　生江一行

願いは「無災害」。何もないこと・・・。ただ、ひとたび事あらば全速力で駆けつけ、あらゆる災害に対応する。それが災救隊です。「ひのきしん」の精神に基づき被災地にひたすら真心を尽して作業にあたり、人々に明日への勇気と元気を取り戻してもらうのが我々の願いです。有事即応に限らず、今でも続く仮設住宅ひのきしん。本年も教区訓練として6月予定にて、浪江町仮設住宅、安達運動場にて除草草刈りのひのきしんをさせていただきます。隊員出動にご協力をお願い致します。

婦人会

主任　平澤栄美

【成人目標】

「ひながたをたどり、陽気ぐらしの台となりましょう」

【活動方針】

ご恩報じを念じ、実のようぼくに育つ

一、教えを学び、身につける

一、身近な人を実（まこと）のようぼくに育てる

一、百万会員を目指して、

にをいがけ・おたすけに励む

常日頃から身近な人達に心を配り、身をもって教えを伝えて、感謝の思いを胸に、日々素直にご恩報じを実行できる人に育てていきましょう。

【本年の主な活動】

●天理教婦人会第98回総会

4月19日（火）本部中庭

●第28回女子青年大会　地方開催

10月30日（日）午前10時　福島教務支庁

○婦人会総会　6月3日（金）午前10時

○委員部長の集い

○母親講座の推進　各支部

○女子青年例会　毎月第3日曜日

青年会

委員長　牛坂直之

【基本方針】

「実動会員の増加と成人」

教祖百三十年祭で真柱様は「これからの歩み方を思案するとき、何にも増して道の将来を担う人材を育成する必要性を強く感じる。」と仰せられました。教区青年会としては、においがけ、ひのきしんは勿論のことですが、「道の将来を担う」青年会員の増加と丹精に力を入れて様々な活動をしていきたい所存でございます。

また、初席者や中席の方を連れてのおぢばがえりなども計画し、一人でも多くの方にようぼくへの成人の道を歩んでいただけるよう頑張っていきたいと思います。

【本年の主な活動】

○ハートクリーンキャンペーン　毎月第一日曜

（詳しくは各支部委員長へお尋ねください）

○ハートクリーンキャンペーン強調デー　7月3日

○全教一斉にをいがけデーへの青年会員の参加

○本部総会への参加　10月27日

少年会

団長　近藤直光

人材育成という親の思いに沿わせていただく上にも、「家族ぐるみで教会へ参拝しましょう」との提唱にもと、しっかりと教会（お道）に繋がって、立派なようぼくへと育てていけるよう、育成者共々と歩んで参りたいと思います。

【活動方針】

『親子で教祖ひながたに親しみ、教えの実践を習慣づけよう』

【重点項目】

- 教会おとまり会の実施と親子参拝の推進
- 支部ひのきしんへの親子参加
- わかぎ育成を意識した活動の取り組み
- 『リトルマガジン』を子供たちへ

【教祖百三十年祭こどもおぢばがえり】

- 帰参する少年会員の大増員

学生担当委員会

委員長　杉澤元和

学生という大人になりきれない不安定な時期に、信仰の喜びを伝え、学生自ら道を求めるように成人していただくには、教会をはじめ、道を先に行く者らがしっかりと導いていかねばならないと切に感じます。まずは、学生会活動への動員に積極的なお力添えをいただけますようお願いいたします。

【基本方針】

『次代を担うようぼくへと丹精しよう』

重要項目

1、大会参加者を「学生生徒修養会」へと導こう

2、青年会・婦人会（女子青年）活動への積極的な参加を呼びかけよう

【本年の主な活動】

○8月	高校生の集い「まなびば」
○8月末	大学生の集い「ワーク&トークin岩手」
○9月	道の学生ひのきしんデー
○3月26～29日	春の学生おぢばがえりツアー

道友社

代表社友　羽田功夫

『天理時報』の購読推進、手配り活動にお力添えを賜りありがとうございます。今年度も、お力添え賜りますよう宜しくお願い致します。

○道友社のホームページがリニューアルいたしましたので、にをいがけにご利用ください。

○『すきっと』27号が6月1日に、28号が12月1日に発売になります。天理教の誇れる雑誌です。ご利用ください。
○今年度も新刊書・文庫本・書籍・CD・DVDなどが発売予定です。にをいがけ、おたすけにご活用ください。
○『天理時報』新規購読者募集中です。

基礎講座事務局

事務局長　山岸正治

ビデオと講師のお話による天理教の紹介と共に、その教えを通して人間本来の幸せな生き方を考える講座です。天理教の方はもちろん、全く初めての方にも親しみやすい内容となっています。是非、布教の手立てとして大いにご活用下さい。

5月29日（日）13時30分～　福島テルサ
9月10日（土）時間、会場未定
11月13日（日）13時30分～　福島テルサ

厚生部

献血担当　橋本義弘

献血サポーターとは

医療に必要な血液を献血によって安定的に確保するために、献血に積極的に協力していただける企業・団体のことを「献血サポーター」と言います。

ロゴマークの配布

「献血サポーター」となった企業・団体には、「献血サポーター」ロゴマークを日常の企業活動等において活用していただくことができます。

献血サポーターへの参加

国民の医療を支える献血のさらなる推進を図っていただき、また、社会貢献活動である献血活動を国民に広くPRする機会として「献血サポーター」にご参加ください。

道の教職員の集い

代表世話人　古川善一

「人を育てるためには、まず育てようとする者の成人の努力が欠かせない。」教祖百三十年祭の時の真柱様のお言葉の一節です。

今年の「夏の集い」では、真柱様よりお言葉をいただく予定となっています。是非、都合をつけてご参加ください。

【今年度の行事案内】

○第59回　道の教職員　夏の集い
・日時　8月7日（日）～8日（月）
○成人塾　8月16日～17日

★新規会員募集中★

「宗教法人実務研修会」開催

教務部（渡辺正彦部長）では、2月19日、教務支庁において「宗教法人実務研修会」を開催。44名が参加した。平成28年1月よりマイナンバーの利用が始まり、法人実務の上でも影響が少なからずあるような状況のもと、改めて法人実務を見直し、理解を深めようと開催されたもので、本部より、教務部宗教法人課長の岩崎旬治氏を講師にお迎えした。

岩崎先生は、「宗教法人とは」といった、基礎的なことから話を始め、長年の経験に基づいた具体的な事例等を交えながら、法人実務について説明をされていった。参加者も、疑問が浮かんだ時点で質問をし、一つ一つ解決しながら実務を学んでいった。

マイナンバーについては、まだ始まったばかりで、実務上の具体的な問題はまだ出てきておらず、国からの説明を分かりやすく伝えていただくだけとなった。

終了後は、個別に相談する時間も設けられ、時間ギリギリまでおつとめいただいた。

天理教校学園マーチングバンド部　演奏会開催

3月21日から23日にかけて、天理教校学園マーチングバンド部が、復興支援活動として、県内4カ所の会場（会津・福島・いわき・郡山）で演奏会を行い、合わせて約2750名の方に足を運んでいただいた。それぞれの会場では、開場時間前から多くの方が訪れ、終了後は「大変よかった。」「力をもらった。」などと、見送りに出た生徒達に声をかけてくださる方も少なからず見られた。

また演奏会の合間には、被災地見学や仮設住宅支援、ララ・ミューでのミニコンサート（約300名の観覧者）なども行われた。なおこれらの活動は新聞やテレビでも報道された。

各地で「ようぼく成人講座」開催

福島支部

福島支部（椿秀教支部長）では、2月13日、福島分教会を会場に開催し、56名が参加した。講師に生江一行先生（新河沼分教会長）をお迎えし、「すっきり解決不足の心」をテーマに、講師のお話を聞いたり、グループに分かれて話し合ったりして、日々の暮らしの中で教えを実践することを学んだ。

郡山支部

郡山支部（加藤和宏支部長）では、2月28日、東安達分教会を会場に開催し、19名が参加した。講師に生江一行先生（新河沼分教会長）をお迎えし、「すっきり解決不足の心」をテーマに、陽気ぐらし実現へ向けて、日々の暮らしの中で、どのように心を遣えばいいのかをお互いに学んだ。

会津支部

会津支部（渡部和明支部長）では、3月19日、会津南分教会を会場に開催し、26名が参加した。講師に荒井忠弘先生（三春分教会長）をお迎えし、「身の内に学ぶ　十全のご守護を感じながら」をテーマに行われ、身近なところに溢れる神様の十全のご守護について、改めて気づかされた。

立教179年4月2日（土）　於・福島教務支庁

福島教区 教区祭式次第

一、祭儀式　教区長祭文奏上
一、おつとめ
　坐りづとめ　主事・各支部長・教区婦人会
　よろづよ八首　少年会・学生会
　一、二下り目　青年会・女子青年
　三、四下り目　耶麻支部
　五、六下り目　郡山支部・田村支部
　七、八下り目　福島支部・安達支部
　九、十下り目　会津支部
　十一、十二下り目　いわき支部・相双支部
一、御礼参拝・教区長あいさつ・新役職者紹介
一、DVD「ビバ　コロンビア」上映
一、少年会より教祖へ献花
　お祝いの言葉
　「教祖おうまれ」・「親神様の守護」斉唱
昼食・解散

学生会

「立教179年　学生おぢばがえり大会」ツアー

1万人の動員を目標に学生が積極的に呼びかけに回った10年に1度の「学生おぢばがえり大会」。福島教区では、26日から30日のコースと27日から29日のコース、2つを用意し、合わせて13名が参加した。

27日の午前中は別席や霊祭参拝、前夜祭の準備などをそれぞれに行い、午後は東北九州交歓会で多くの友と親睦を深めた。夕づとめ後は前夜祭「NEXT STEP　130」が開催され、福島教区も模擬店を出店し、仮装して呼び込みをするなどして、フランクフルトを完売した。

28日の式典では、温かい日差しが降り注ぐ中、学生らは真剣に真柱様のお言葉を拝聴し、会員代表の体験発表に耳を傾けた。また、今年は式典前に別席を受ける時間が設けられ、前日に引き続き席を運ぶ学生もいた。

29日はUSJを訪れ、それぞれに楽しい時間を過ごし、帰路についた。

参加人数は9308名（3月30日時点）と目標には及ばなかったが、過去最高の人数をご守護いただいた。

前夜祭での模擬店。おおいに盛り上がりました。